

付属ソフトウェアの利用規約

【著作権】

- RF for Windows（プログラム及び関連ドキュメントを含める）の著作権は、株式会社ティアンドデイ（以降、弊社と表記）に帰属します。
- 転載及び、冊子・商品などを添付して再配布する場合には、弊社の承諾を必要とします。再配布については、弊社営業部までご連絡ください。
- RF for Windows には改変を加えないでください。

【免責事項】

- 株式会社ティアンドデイ（以下、弊社と表記）は、RF for Windows により利用者に直接または間接的障害が生じて、いかなる責任賠償等を負わないものとします。
- RF for Windows はご利用者へ事前の連絡なしに仕様を変更したり、サービスの提供を中止する場合があります。その場合、RF for Windows をご利用いただけなかったり、ご利用者に直接または間接的に障害が生じた場合でも、弊社はいかなる責任賠償等は負わないものとします。
- 弊社は RF for Windows に不備があっても訂正する義務は負わないものとします。
- 弊社は RF for Windows に関して動作保障をいたしません。

株式会社ティアンドデイ

〒390-0852 長野県松本市島立 817-1
TEL:0263-40-0131 FAX:0263-40-3152
お問い合わせ
月曜日～金曜日（弊社休日は除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

取扱説明書に関するご注意

- 本製品をお使いになる前には、必ずこの取扱説明書をお読みいただき、内容を十分理解してからご使用ください。
- 本書の著作権は、株式会社ティアンドデイに帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。
- 本書の安全に関する指示事項には、必ず従ってください。本来の使用法ならびに本書に規定した方法以外でお使いになった場合、安全性の保証はできません。
- 取り扱いを誤ったために生じた製品の故障およびトラブル等は、弊社の保証対象には含まれません。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した図および、イラスト、画面表示は、一部を省略、抽象化し、実際とは異なる場合があります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一落丁乱丁、ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までご連絡ください。
- 会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。



RF for Windows

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、
本製品を正しくお使いください。

株式会社ティアンドデイ

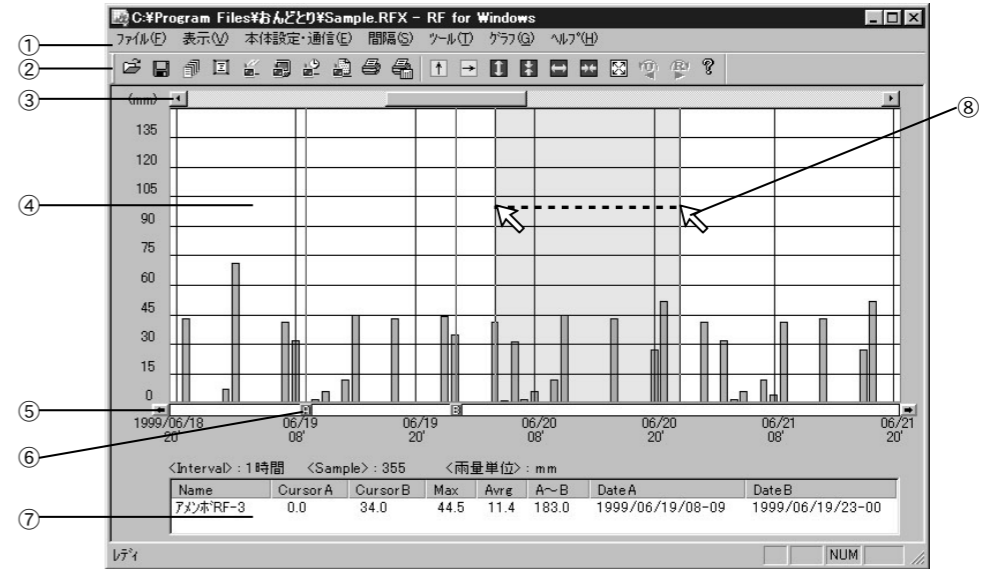
© Copyright 1999～2015 T&D Corporation. All rights reserved. 2015.10 16504160005 第8版

ソフトウェア仕様

対応機種	レインフォールオブザーバ RF-3
対応 OS (*1)	Microsoft® Windows® 10 32/64bit 日本語 Microsoft® Windows® 8 32/64bit 日本語 Microsoft® Windows® 7 32/64bit 日本語 Microsoft® Windows Vista® 32bit (SP1 以降) 日本語
通信機能	記録スタート（即時/予約）、本体設定値読み込み 本体状態設定（表示雨量項目選択・警報ブザー ON/OFF 設定・降始めからの雨量のリセット時間設定・警報雨量設定） 記録データの吸い上げ
画面表示	積算雨量の棒グラフ 拡大/縮小/スクロール表示可能 表示間隔は 10 分・1 時間・1 日・1 ヶ月の 4 種類から選択
ファイル出力	専用ファイル・テキストファイル
印刷	グラフ印刷・テキスト印刷
付属品	シリアル通信ケーブル RS-232C（D-sub9 ピン 長さ 1.5m）、 取扱説明書（本紙）

*1: インストール時、Administrator（パソコンの管理者）の権限が必要になります。

グラフ表示画面



※サンプル画面

①メニューバー

メニューバーの操作方法については、ヘルプの中で詳しく説明しています。

②ツールバー

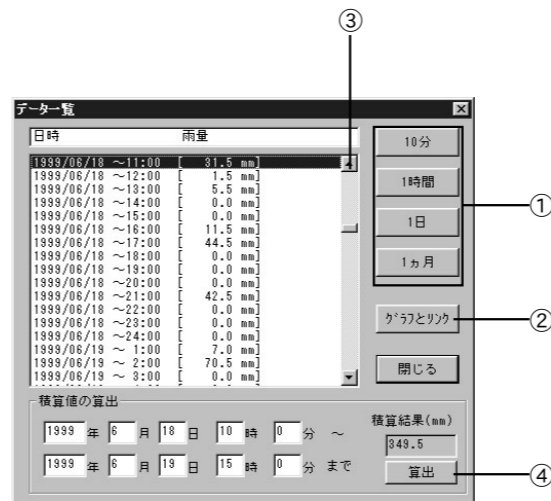
- ファイルを開く
- RFY 形式で保存
- テキスト形式で保存
- データ一覧
- 接続設定
- 本体状態設定
- 予約記録設定
- 記録データ吸い上げ
- 表印刷
- グラフ印刷
- 縦軸スケール
- 横軸スケール
- 縦軸スケール拡大
- 縦軸スケール縮小
- 横軸スケール拡大
- 横軸スケール縮小
- 初期サイズに戻す
- 元に戻す
- やり直す
- バージョン情報

③横軸移動ボタン

ボタンをクリックすると、時間軸が移動します。

データ一覧表示画面

グラフ画面が表示された状態で「表示」メニューから「データ一覧表を開く」を選択すると、一覧表が表示されます。



※サンプル画面

④グラフエリア

縦軸は雨量 (mm)、横軸は日時を示します。
縦軸は、「表示」メニューの「縦軸スケールの設定」により縦軸の最大値を設定することができます。
横軸は、「表示」メニューの「横軸スケールの設定」により横軸の表示範囲を設定することができます。また、「間隔」メニューにより 10 分・1 時間・1 日・1 ヶ月のいずれかに表示を切替えることができます。

⑤A・Bカーソル横軸移動ボタン

ボタンをクリックすると、A・Bのカーソルの間隔を変えず、左右に移動します。

⑥A・Bカーソルボタン

ボタンをドラッグしながら左右に移動し、目標位置まで移動します。

⑦A・Bカーソルの情報表示

A・Bカーソルボタンを移動した位置情報等を表示します。

⑧横軸の拡大

横軸のスケールのみ、マウスを使ってグラフ画面を拡大することができます。拡大したい範囲をドラッグすると範囲が指定され、グラフ画面が拡大されます。

①表示間隔ボタン

表示している一覧表の時間間隔を選択します。雨量は、一覧表を選択した時間ごとに表示されます。

②[グラフとリンク]ボタン

グラフ画面で表示している場所のデータ一覧表を表示します。

③スクロールバー

スクロールバーをドラッグしながら上下に移動し、目標位置まで移動します。

④[算出]ボタン

指定した期間の雨量の合計を算出します。
算出したい期間を指定し[算出]ボタンをクリックすると積算結果が表示されます。

1. インストール

ソフトウェアをインストールする前に本体をパソコンに接続しないでください。

1. Windows を起動し、Administrator（管理者）権限でログインします。
2. CD-ROM を CD/DVD ドライブにセットします。
3. [インストールプログラム]ウィンドウが開きます。

[自動再生]ウィンドウが表示された場合

[setup.exe の実行] をクリックしてください。

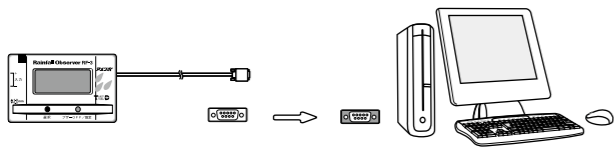
[インストールプログラム]ウィンドウが自動で表示されない場合

CD/DVD ドライブ内の [setup.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

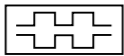
4. 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールしてください。
5. インストールが完了すると、Windows のスタートメニューに " RF for Windows " が登録されます。
6. スタートメニューより RF for Windows を起動します。

2. 通信ケーブルの接続

付属の通信ケーブルを、レインフォールオブザーバー本体（以下 RF-3）と PC に接続します。



- シリアルポート (RS-232C) に接続してください。
- シリアルポート以外に接続すると、通信できませんのでご注意ください。
- 通信ケーブルは、接触不良が起きないように確実に挿入してください。



注意：本体は、PC から通信時に日付・時刻を受け取るため、必ずパソコンの日付・時刻を合わせてから通信するようにしてください。

3. 通信ポートの設定

PC 側の通信ポートを設定します。

注意：RF-3 本体と PC を通信ケーブルで接続してから設定を行ってください。

1. RF for Windows メイン画面のメニュー「本体設定・通信」から「接続設定」を選択すると「通信ポート設定」ダイアログが表示されます。



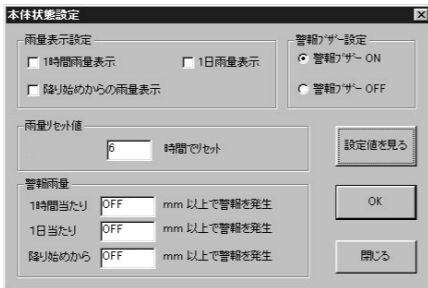
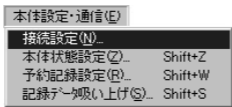
2. 使用するシリアルポートを選択または [自動検出開始] ボタンをクリックし、通信ポートを設定します。

4. 通信する

RF-3 本体と PC を接続してから設定や記録データの吸い上げを行ってください。

本体状態設定

「本体設定・通信」メニューより「本体状態設定」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。



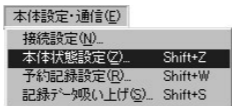
必要事項を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

※測定記録方法は、本体取扱説明書をご覧ください。

※雨量リセット値とは、雨が止んでからリセットされるまでの時間です。

5. 記録データ吸い上げ

「本体設定・通信」メニューより「記録データ吸い上げ」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。



[吸い上げ開始] ボタンをクリックすると吸い上げが開始されます。データの保存に関しては、本紙面の「ファイルの保存」をご覧ください。

ファイルの保存：RFY 形式で保存する

吸い上げた記録データを RF for Windows 形式のデータファイル (*.RFY) として保存します。

「ファイル」メニューより「データを RFY 形式で保存」を選択するとダイアログボックスが表示されます。



[保存範囲指定]

保存範囲を指定する場合に保存する開始日と時間、終了日と時間を入力します。

[保存範囲項目設定]

保存する範囲を選択します。

必要事項を入力し、[RFY ファイル保存] ボタンをクリックしてください。

ファイルの保存：テキスト形式で保存する

他の表計算ソフト等で読み込むために、テキスト形式で保存することができます。

「ファイル」メニューより「データをテキスト形式で保存」を選択するとダイアログボックスが表示されます。



[保存間隔設定]

保存する間隔を選択します。

[保存範囲項目設定]

保存する範囲を選択します。

[保存形式設定]

保存する形式を選択します。

・カンマ、スペース、タブ、セミコロンは他の表計算ソフトでテキストファイルを読み込む際、セルの区切りとして使われるコードです。

[保存範囲設定]

保存範囲を指定する場合に保存する開始日と時間、終了日と時間を入力します。

必要事項を入力し、[テキストファイル保存] ボタンをクリックしてください。

記録方式について

RF-3 本体はエンドレス方式で記録を行い、データは最大 400 日前まで吸い上げることができます。エンドレス方式とは、記録データが 57600 個（400 日）を超えると、一番古いデータから上書きされていく記録方式です。

記録開始時間の変更

吸い上げた雨量データの記録開始日時を変更したり、情報ボックスの「Name」を変更することができます。

「ツール」メニューより「記録条件メンテナンス」を選択すると、ダイアログボックスが表示されます。



変更内容を入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

データ印刷について

グラフ印刷・・・ 画面に表示しているデータのグラフおよび一覧表を印刷します。

テキスト印刷・・・ 印刷するデータを「月間」あるいは「年間」で指定し、表のフォーマットで印刷します。

印刷前に「グラフ印刷プレビュー」「テキスト印刷プレビュー」にて印刷のレイアウトを見ることができます。

印刷についての詳細は、メニューの「ヘルプ」をご覧ください。